

1 INK工法をやってみたいけど・・・。

INK工法を導入するには、いろいろな方法があります。

(1) 県営のほ場整備事業など (※) の1工種として施工

(※) 経営体育成基盤整備事業、中山間地域総合整備事業など
農地の区画整理や用排水路、農道整備などと一体的に、**暗渠排水**も実施できます。

農家負担は事業費の5～10%です。(国 50～55、県 30、市町村 10%)

(2) 「農地耕作条件改善事業」により、助成金をもらって施工

暗渠排水を施工すれば、工事費 (同時埋設工法) 7.5 万円/10a と実施設計費 1.5 万円/10a、さらに**地下かんがい**を追加すれば 2.5 万円/10a の助成を受けられます。(助成合計 11.5 万円/10a)

ただし、整地仕上げや給水設備・地下水位調整設備等の施工など、工事の一部を「自力施工」として自ら実施する必要があります。

(3) 「活力ある中山間地域基盤整備事業」(県単独事業)により、助成金をもらって施工

新たな畑作物の導入などを条件に、**暗渠排水**を施工すれば、工事費 15 万円/10a (湧水処理は 15 万円/100m) の助成を受けられます。

各種事業の導入については、農業公社またはお近くの農村整備センター (農村整備室) にご相談ください。

なお、(1)と(2)については、当公社が進めている「農地中間管理事業」と一体的に取り組むことにより、農家負担の軽減や予算配分の優遇などの措置があります。

2 もっと安くできないか？

効果は「フルセット」よりも若干落ちますし、管理がちょっと大変ですが、次のような方法があります。

(1) 補助暗渠の間隔を4mに (通常は2m)。 (3.3 万円/10a 軽減)



この場合には、中間に弾丸暗渠を「自力施工」されるようお願いします。

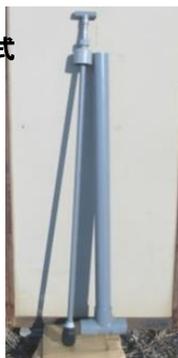
(注意!!)

土質や地形条件によっては、適用できない場合もあります。

(2) 水閘と管理孔の部品変更

① 水閘：水平式 ⇒ ネジ式 (1.6万円/10a 軽減)

水平式



ネジ式



(注意!!)

排水路の幅が広いとか、深いなど、現地の状況によっては安全性の面から、ネジ式を採用出来ない場合もあります。

② 管理孔：既製品 ⇒ ロール管+キャップ (0.4万円/10a 軽減)

既製品



無孔ロール管+キャップ



(注意!!)

土質によっては変形する場合があります。

(3) モミガラ^①の自力提供 (3.9万円/10a 軽減)

モミガラは10a当たり140～150袋(0.08m³/袋)必要です。

(ドレンレイヤー 約65袋、補助暗渠 約80袋)

農業公社からビニール袋を提供しますので、自分で袋詰めをして現地に運搬すれば、モミガラ代の経費が節減できます。

※ (1)～(3)を取り入れた場合は、補助暗渠まで施工しても、バックホウなど従来工法より安く仕上がります。

3 工事の期間はどれぐらい必要なの？

現地の調査(農家の立会をお願いします。)や実施設計から、工事完成まで約50日必要になります。⇔従来工法(バックホウ)は、補助暗渠無しでも約60日。

【条件】30a区画、工事規模5ha程度。各工種施工班1パーティの場合

調査・測量・設計	7日
準備工、付属品設置	13日(水閘7箇所/日, 管理孔10箇所/日)
ドレンレイヤー	6日(800m/日)
補助暗渠	17日(0.3ha/日)
整地工	5日(1.0ha/日)
計	48日

※ 上記の日施工量は目安です。

※ 実際には、重複作業が可能な場合もありますので、工期は短縮可能です。